

2020年1月15日発行

K



(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical therapy Association
News

P

1
2020
January
No.282<http://www.pt-kanagawa.or.jp>

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 佐藤 史子 ○編集 | 森尾 裕志

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[2019.12.1現在] 5,696名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶新年のご挨拶 P3▶活動報告 P4▶社会保険部だより P6▶会員ライフサポート部活動報告69報
P7▶表彰 P8▶新人教育プログラム P9▶研修会・講習会 P9▶会長行動報告 P10▶information P11▶学会情報
P12▶原稿送付先/編集後記

巻頭言



「第37回神奈川県理学療法士学会へのお誘い」

第37回神奈川県理学療法士学会会長（湘南医療大学保健医療学部） 大森圭貢



神奈川県理学療法士会会員の皆さま。明けましておめでとうございます。

2020年は新元号「令和」になって初めて迎える年であり、また56年ぶりに東京でオリンピック・パラリンピックが開催される年でもあります。そのように稀有な年が明けて2か月半後に、第37回神奈川県理学療法士学会が開催されます。

37回目を迎える本学会のテーマは「理学療法士の更なる挑戦—10年後も生き残るために—」です。理学療法士を取り巻く環境は大きく変化し、私たちには能力の多様化、活躍のフィールドの拡大、そしてより高い専門性と人間性が求められています。そのような期待に応えるには「過去を振り返り、現在を見つめ、そして未来を考えて新たな一歩を踏み出す」機会が必要と考えられます。第37回学会ではこのようなことを考え基調講演、シンポジウム、教育講演を企画しています。

基調講演では、医療人として心得ておくべき真理と情熱を引き継ぐために、神奈川県のリハビリテーション黎明期に教育と福祉の立場から実践を重ねられてきた阿部志郎先生にご講演いただきます。

シンポジウムでは、今後求められる理学療法士の専門性と将来の展望を考えるために、急性期・回復期・生活期の各期の臨床の最前線でご活躍をされているスペシャリストからお話いただきます。

そして理学療法士として今いる場所から新たに一歩

踏み出す手がかりとなるように、教育講演では、臨床での疑問や課題を研究に発展させる研究デザインについて、専門性のある理学療法士として自らを高めるための卒後教育制度について、そして新しい領域として期待されるウィメンズヘルスについてそれぞれご講演いただきます。

また県民公開講座では、国の健康・医療戦略に盛り込まれた「未病」について黒岩祐治神奈川県知事よりご講演をいただく予定です。県民の皆様にも広く健康増進に関する還元を図るとともに、「未病」を知ることで、私たちの新たな「挑戦」の場を考える機会にしたいと考えております。

私たち準備委員も「挑戦」しています。希望される演題発表者には査読者からのコメントをお戻しするようにし、発表の際の情報としていただくようにしました。学会場には、託児所の設置のほか、お子さんとともに入場でき視聴可能な会場を準備しました。お子さんを抱えたセラピストが学会参加しやすく、日々進化を遂げる医療や福祉の情報のアップデートをする際の垣根を少しでも低くできたらと考えています。

第37回大会準備委員一同、本大会が神奈川県士会の多くの会員の臨床・教育・研究における知識・技術の向上の場となり、これからを支える若手理学療法士の方々が専門職としての能力を高めるための学術的な「挑戦」を始める良い機会になると自信を持てるように準備を重ねています。引き続き、新元号「令和」初の記念すべき学会に恥じないように運営・準備を進めてまいります。皆さまのご参会を心よりお待ち申し上げます。

新年の挨拶



新年のご挨拶

(公社) 神奈川県理学療法士会 会長 佐藤史子

新年あけましておめでとうございます

2019年皆さんにも、それぞれに多くのイベントがあり、振り返りもされたことと思います。そして、新年を迎えるにあたり、何を想われているのでしょうか。

2019年、本会は若い力、新しい力を得て新体制で会の運営をスタートさせました。これまで「当たり前」と思っていたことに、疑問や提案がされるようになり、理事会や事業運営会議での意見交換も活発になってきたと感じています。事務所体制も、新たに2名の事務職員を採用し、多様化する事業への対応や会員の活動支援が行える体制づくりが進んでいます。役員と事務所の連携した活動をどう構築するかが、今後の課題です。また、12月には事務所の改修も終わりました。事務所や会議室が整備され、事務職員はもちろん、会員の皆様にも使っていただきやすい事務所になっていると思います。是非、足を運んでみてください。

さて、2020年は(公社)日本理学療法士協会が進めている新生涯学習システムについて全容が発信される予定です。我々理学療法士の質の保証を目指して構築されるこのシステムが、会員の方の自己研鑽の機会になるよう

準備を進めてまいります。また、2020年の入学生から適応される理学療法士の養成指定規則に基づいた臨床実習指導者の養成について、2019年から養成研修を開始しています。まだまだ、必要人数には達していませんので、今年も養成研修を充実し、理学療法士の育成に力を入れていきます。更に、これまで地域包括システムの構築などを通して行政機関との連携も進んでいます。より地域に根差した連携体制をとれるよう、現在のブロックの活動のあり方についても検討を進めます。

課題満載ではありますが、新年のスタートにあたり、今一度やるべきことをここに刻みたいと思います。そして、今年はいよいよオリンピック・パラリンピック2020の年。いろいろなドラマから生まれる感動に元気をもらいながら、1年間を走り抜けたと思います。

最後になりましたが、2020年は(公社)日本理学療法士協会の代議員選挙の年になります。会員の皆様の生の声を届ける良い機会になります。是非代議員にも挑戦していただければと思います。

2020年が会員の、そして県民の方にとって、良い年となりますように。



SP-i

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>

活動報告



第8回災害対策研修会が開催されました。

災害対策委員会 佐藤陽介

2019年11月10日（日）横浜水道会館にて「第8回災害対策研修会」が開催されました。

第8回目となる今回は「災害時におけるリハビリテーション支援の実際と生活再建に向けた支援の在り方」について検討することを目的として研修会を開催しました。

「災害時における受援体制」や「受援力」がクローズアップされた「平成28年熊本地震」から3年が経過し、今年に入ってから地震に限らない自然災害が発生しています。今後また起こるかもしれない大規模広域災害に備えるべく、災害リハビリテーションや災害理学療法役割を整備する必要があります。

今回は講義と演習の二部構成にて、前半の講義では、去年に引き続き三宮克彦氏を講師に迎え、「熊本地震における本部運営の実際」についてお話し頂きました。三宮氏は熊本地震の際、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team：JRAT）の調整本部長として活動され、避難所での災害時要配慮者を中心としたリハ支援にご尽力されました。その際の災害対策本部運営の流れや実際の活動内容について詳細に伺うことができました。

また後半の演習では「大規模災害リハビリテーション支援チーム本部運営ゲーム（REHUG）」というカードを用いて、ゲーム形式で大規模災害時の本部運営についてグループワークを行いました。開発者である佐藤亮氏を講師に迎え、REHUGが開発された経緯やその活用方法についてお話し頂きました。REHUGは熊本地震におけるJRAT熊本本部活動をベースとしており、ゲーム参加者が活動本部と調整本部、それぞれの本部で起こる様々な出来事

にどう対応していくかを疑似体験する実践的なシミュレーションゲームです。参加者は、各本部にて活動本部長や調整本部長、ロジスティック（後方支援）などの役割に分かれ、支援チームの受け入れや派遣、福祉用具の貸与、記録等に対応する基本的な本部運営について学習しました。時間経過とともに刻々と変化する状況に臨機応変に対応する中で、その大変さも体験して頂けたと思います。

今回は43名（県会員23名、県外会員13名、多職種・学生7名）の方々に参加して頂き、災害リハビリテーションに対する需要を感じることができました。一方で、十分にすそ野が広がっていないことも事実です。「支援」「受援」両方の準備を進めるためにも、災害リハビリテーションに関する教育と人材育成は急務となっています。講師の三宮氏が仰っていた「いつも出来ることが、いざという時に出来ること」という言葉を忘れずに、災害対策委員会としても活動していきたいと思えます。

また、本研修会の前日にはREHUGファシリテーター養成研修を委員会とエリアコーディネーターのメンバーで受講しました。無事、全員終了証を頂き、10日の研修会でファシリテーターを務めることができました。参加して下さったエリアコーディネーターの皆さまのご協力に、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後も各地域にて、より具体的で実践的な災害対策・防災施策を実行していきたいと思えます。

より多くのみなさまのご参加をお待ちしております。



三宮克彦氏による講演



研修会の様子

活動報告

社会保険部だより ～短時間デイケアことはじめ～

(公社) 神奈川県理学療法士会 職能局 社会保険部

介護保険を利用している人が、期限を超えたので外来リハビリが出来なくなりました。
短時間型通所リハビリを始めてみたいけど、何を調べたら良いのだろう ...



今回、社会保険部では 10 年前から病院内での短時間デイケアに取り組んでいる衣笠病院通所リハビリセンターを取材してきました！



自施設が始められるか見てみましょう！
通所リハビリを始めるときには
1. 人員基準 2. 施設基準を確認します。
その他にも、**送迎のためのドライバーや事務作業のためのスタッフ**も必要ですね

人的基準

- ① **医師**
専任の常勤1名以上（病院などとの兼務可）
- ② **従事者**（PT,OTもしくはSTまたはNs,ヘルパー）
利用者10人に1人以上
- ③ **PT OT ST**
利用者100人に1人以上

施設基準

3平方メートル×利用定員以上の面積
疾患別リハの機能訓練室の一部でも可能※

※1-2時間の通所リハビリの場合

私の病院でも何とか出来るかもしれません！
場所が決まったらどんな設備が必要ですか？



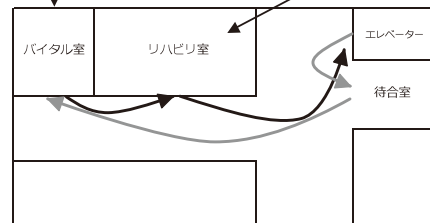
では、ここからは衣笠病院通所リハビリセンターの例を見ながら考えてみましょう！



バイタル確認の部屋では、バイタル測定機器、酸素吸入のアウトレット。リハビリ室では、平行棒、階段昇降など運動療法に必要なものがありますね。



バイタル室では、運動の映像を流していたり、雑誌やルービックキューブがあるなど、利用者が楽しめる工夫がありました。



病院のリハビリ施設と似ていますね！
短時間デイにはどの程度スタッフが必要ですか？



衣笠リハでは1回の利用者13人を
1日3回転（土曜日のみ4回転）行っています。
スタッフは、医師1名、セラピスト6名（専従2、兼務4）
介護福祉士4名（常勤1、非常勤3）、介護員1名（非常勤）
ドライバー2名（非常勤）です。事務はチーム内で分担しています。



短時間デイでは、利用者、セラピストはどのように動いているのでしょうか？



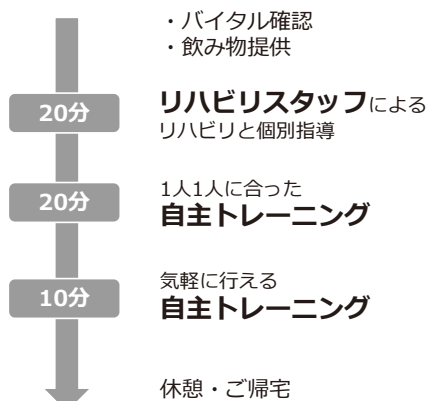
衣笠リハの流れです。
ここでは午前2回転、午後1回転
(土曜日のみ2回転) 行っています。



バイタル室でチェック
⇒個別リハビリ以外も送迎の手伝いなど行っています。

セラピストA	セラピストB	セラピストC	セラピストD
個別リハ1	個別リハ4	個別リハ7	迎え入れ 個別リハ10
個別リハ2	個別リハ5	個別リハ8	個別リハ11
個別リハ3	個別リハ6	個別リハ9	個別リハ12
帰りの誘導	帰りの誘導	帰りの誘導	個別リハ13

90分の短時間型



通所リハビリは送迎が大変って聞きますが ...



衣笠リハでは待合室を活用し入れ替えの時間を短縮していました！1組目が帰宅準備をしている際に、2組目は待合室に待機します。
1組目の帰宅誘導と同時に、2組目の準備を行い、でき次第2組目を迎え入れます。



送迎は、ドライバーだけでなくセラピストが行うこともあります。
送迎車は、法人内の他事業所と兼用することで効率よく活用していました。



今回、取材に協力して頂きました鈴木先生、衣笠病院の皆様本当にありがとうございました！



鈴木三四郎先生
2019年9月に無事定年を迎えられたそうです。おめでとうございます！

**受け皿は受け皿であり続けなければいけない。
次への架け橋としての役割を担う必要があることを忘れてはならない。**

医療保険でリハビリ継続が困難な患者が増え、現場でどうしようか考えていた時に、短時間の通所リハが介護保険で可能というニュースを知りました。現場のニーズと、空き病棟を使いたいという病院のニーズが、タイミングよく合ったからこそ、始めることができました。今年で通所リハも10周年を迎えることが出来ました。「やるべきことを明らかにし、諦めない、だけど無理はしない。」「求める生活を取り戻すための橋渡しとして、結果の出せるチーム」を目指して、これからも進んで参ります。

活動報告

就業継続のヒントを学ぼう！ コラム企画第4回 会員ライフサポート部 活動報告 第69報 ライフサポート部 職場環境を考える

今年度、3回にわたり、「働き続けるためのコミュニケーション」と「妊娠によるからだの変化」についてシリーズで連載してきましたが、第4回は、近年増えていると言われている「不妊治療」についてお伝えします。不妊の悩みを抱える人の支援活動をされているNPO法人Fine代表の松本亜樹子さんに寄稿して頂きました。身近で不妊に悩んでいる方のことを理解し、適切なサポートが出来るようになることが、これからの就業継続しやすい職場づくりに役立つのではないのでしょうか。是非、皆さんの職場でも自分事として考えてみるきっかけにして頂ければ幸いです。

中村先生の研修会も無事終わりました。「自分はこれでいいのか？」と自問自答している方に、その解決法の1つを紹介していただきました。是非参考にしてください。

■「不妊治療と仕事の両立の必要性」 講師：NPO法人Fine代表 松本亜樹子先生

現在日本では、5.5組に1組の夫婦が不妊治療や検査を受けています。不妊の原因の約半数は男性にもあり、今や不妊は男女を問わず身近で深刻な問題となっています。不妊治療施設の増加に伴い、治療で子どもを授かる人も増えています。日本では出生児減少が毎年取りざたされていますが、それに反して、体外受精などにより生まれた赤ちゃんは年々増え、2017年は年間56,617人を数えました。この年の出生児の約16.7人に1人にまで達しており、この比率は年々高くなっています。

これだけ身近でありながら、不妊を話したがる当事者は多く、その大半は周囲に知られていません。特に職場においては同僚や上司などに知られることを嫌がり、ひっそりと治療を受ける人が多くいます。ここで生じるのが「不妊治療と仕事の両立」の課題です。2017年に実施したNPO法人Fineの調査「仕事と不妊治療の両立に関するアンケートPart2」では、働きながら不妊治療をしたことのある人の約96%が「両立は難しい」といい、5人に1人が両立できずに退職したという結果がでました。働き盛りの女性が、不妊治療のために二者択一を迫られ、仕事をあきらめざるを得ない現状がここに浮き彫りになっています。

両立しづらい理由は突発的で頻回な通院です。不妊治療は生理周期に合わせて行われるため、先の予定が立てられないのです。しかも最も高度な治療を行ったとしても、妊娠・出産できる確率は12%程度にとどまるため、「いつまで」という期限の目安も立てられません。「周囲に迷惑をかけてしまう」と、周囲への心苦しさから自ら退職を選ぶ女性も多く、ほとんどが「不妊治療のため」とは

明かさなため、この現状が企業側に見えていないことも課題です。さらに、残念なことに周囲や上司からのプレマタニティハラスメントを受けて、退職せざるを得なくなる人もいます。

では「不妊退職」を防止するためには、何が必要なのでしょう。アンケートの結果、当事者が職場に求めるサポートで最も多かった声は「管理職への不妊治療についての啓発・研修」、ついで「柔軟な有休制度」「休業や再雇用制度」でした。不妊治療のサポート制度がある企業は、まだわずか6%程度ですが、不妊治療休暇制度などを設ける企業も出てきました。また「不妊治療と仕事の両立」のために制度を設けた企業に対して助成金を出すという取り組みを行う自治体もあります。このように少しずつですが、両立のための環境が変わり始めていることは、一当事者として大変ありがたいことだと思います。

しかし「制度があっても使っていない」と答えた当事者が約40%いました。制度とともに、それを使いやすい「風土」こそが必要なのだと思います。不妊治療と仕事の両立への取り組みは、まだ始まったばかりです。多くの方に当事者の現状をご理解いただき、仕事も妊娠も諦めずにすむ社会環境の確立を願っています。



NPO法人Fine ホームページ <https://www.j-fine.jp/>



■ 働き続けるためにコミュニケーションを見直そう！ 講師：中村有先生

第4回「自分がカウンセリングを受けることで、カウンセラーは正しい成長ができる」

先日の研修会で受けた質問に返した答えのひとつに「我々カウンセラーは教育分析を受けます」というものがありました。今回は、それについて書こうと思います。

ある種のカウンセリングには「守秘義務」という約束がともないます。この義務は、非常に強くカウンセラーを縛り、話した本人に自傷他害がない限り内容を秘匿します。しかし、カウンセラーが守秘義務から解き放たれる瞬間がふたつあります。ひとつはカンファレン



スで、もうひとつが教育分析（＝個人分析）です。教育分析は、自分自身を振り返り、正しいセラピーができていないか学ぶ場ですが、これを受け続けることで私たちは正しい心理療法＝カウンセリングができていないか検討・修正できます。ひとつひとつの事例に対する検討はもちろんのこと、非常にプライベートな話題を話し合うことを通じて、カウンセラーの成長を促します。ヒューマンサービスに就き、人の話を深いところまで聞く機会がある方々には、ぜひおすすめしたいです。興味を持たれた方は、周囲の心理職や、各都道府県の臨床心理士会に問い合わせ、通ってみることをお勧めします。

表彰

2019年10月27日に第38回関東甲信越ブロック理学療法士学会に於いて、関東甲信越ブロック協議会賞を神内擴行氏、秋田裕氏、林克郎氏の3名が受賞されました。



神内擴行



秋田 裕



林 克郎

2019年11月14日に平塚保健福祉事務所に於いて、神奈川県保健衛生表彰平塚保健福祉事務所長表彰を藤井誉行氏が受賞され、11月20日に横浜市開港記念会館に於いて、神奈川県公衆衛生協会会長表彰を坪内敬典氏が受賞されました。また同日、神奈川県庁大会議場に於いては、令和元年度神奈川県保健衛生表彰知事表彰を木下尚久氏が受賞されました。おめでとうございます。



木下尚久



坪内敬典



藤井誉行

新人教育プログラム



2019年度 第4回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度は、2019年度 第4回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

- 開催日：2020年2月2日（日）
- 開催地：青山学院大学 相模原キャンパス E棟 101教室
- 交通：横浜線「淵野辺駅」下車 徒歩7分（案内図参照）。
- 受講費：本会会員
1,000円（受講単位数に関わらず一律1,000円）
他士会会員
4,000円（受講単位数に関わらず一律4,000円）
- 対象：日本理学療法士協会協会員（会員番号が付与されている者）で新人教育プログラム未修了者
- 内容：新人教育プログラム研修会

予定時間	研修会テーマ	取得単位
9:30-10:30	A-1 理学療法と倫理	1
10:35-11:35	A-2 協会組織と協会学習システム	1
11:40-12:40	A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む)	1
休憩		
13:30-14:30	A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む)	1
14:35-15:35	A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む)	1
15:40-16:40	C-1 神経疾患の理学療法	1

7. 申込方法：

事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。個々のテーマは独立した研修会ですので各々の登録が必要になります。

受講登録後の自動返信メールをお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。

自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報をお願いいたします。

新人教育プログラム研修会では、受付の際に事前登録の完了が確認できなければ受講をお断りしております。

8. 申請テーマのキャンセル：

事前登録で申請したテーマ以外への変更および当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。

やむを得ずキャンセルしなければならない場合は、本会

事務局（office@pt-kanagawa.or.jp）へ前々日までにご連絡をお願いします。

9. 講義資料：

日本理学療法士協会HPの「マイページ」より各々の受講テーマを必ずダウンロードしご持参下さい。会場での用意はございません。（C-1のみ当日配布いたします）

10. 定員：330名（先着順）

11. 申し込み期間：

申込開始日：2019年12月27日（金）正午～

申込終了日：2020年1月27日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いいたします。

当日はカードリーダーによる入退出受付があります。

カード発行が間に合わない場合は自動返信メールを確認、照会させていただきます。

注) 会員番号が付与されていない場合は、申請中であっても受講はできません。当日受付は一切行いません。

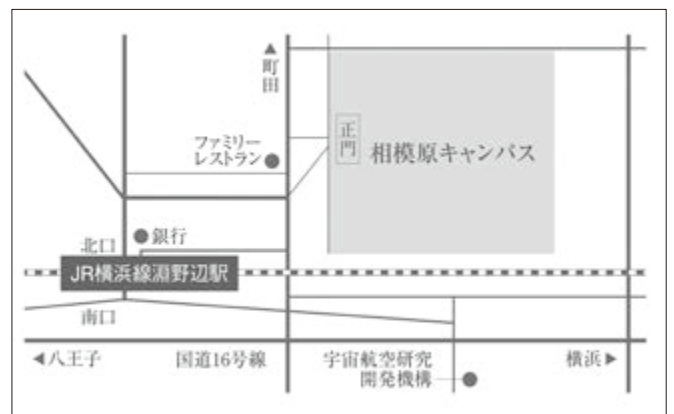
注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。

注) 研修終了時に改めて終了受付があります。終了受付を済ませずに帰宅すると、単位認定できない場合がありますので注意してください。

注) 昼食は各自でご用意ください。会場内の飲食は可能です。

連絡先：公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局

E-Mail：office@pt-kanagawa.or.jp



研修会・講習会(県士会主催)



●県士会主催

2019年度 研究支援部講習会のお知らせ

テーマ:統計ソフトの使い方～統計ソフトRを用いた入門演習
内容:臨床データを学会などの発表の形にまとめるのに統計ソフトは有用ですが、多くは高価であるため個人で所有することが困難です。「統計ソフトR」は無料公開されている統計ソフトですが、「使い方がわからない」という声を多く耳にします。そこで本講習は、実際に「R」をインストールしたPCを使った演習を1から行います(高齢者の理学療法を題材)。

注意事項:受講者はノートPC(windows)に「R」をインストールした上でご来場ください。インストールは統計科学研究所のページを参考に行ってください。
http://www.statistics.co.jp/reference/software_R/free_software-R.htm

日時:2020年2月1日(土) 9時00分～12時00分
 (受付開始:8時30分)

会場:昭和大学 長津田校舎101教室
 (最寄駅:田園都市線「青葉台」駅発、JR十日市場経由若葉台中央行き「中山谷(なかざんや)」下車徒歩5分)

講師:上出直人(北里大学 医療衛生学部)
 池田 崇(昭和大学 保健医療学部)

アシスタント:金子敬弘(けいゆう病院)
 野口 悠(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)

受講料:本会会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

申込方法:日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。
 神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間:2019年12月1日(日)～2020年2月22日(水)
 (振込の場合は1月12日まで)

定員:40名(予定)
 (先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象:理学療法士

単位認定:履修ポイントについては現在、詳細を検討中のため、判明次第、本会ホームページにアップしてまいります。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先:研究支援部窓口担当
 E-Mail: kenkyushien@pt-kanagawa.or.jp

月	日	内容	場所
8月	22日(木)	第3回理事会	本会事務所
	29日(木)	学術局会議	本会事務所
9月	5日(木)	第6回常任理事会	アットビジネスセンター横浜西口駅前
	20日(金)	「梅沢裕之君の第112代神奈川県議会議員就任を祝う会」参加	横浜ロイヤルパークホテル
	25日(水)	神奈川県医療専門職連絡会第155回定例理事会 大槻局長、惣田局長同席	神奈川県臨床検査技師会事務所
	26日(木)	第4階事業運営会議	アットビジネスセンター横浜西口駅前
10月	3日(木)	第7回常任理事会	アットビジネスセンター横浜西口駅前
	7日(月)	関東甲信越ブロック協議会学会運営検討委員会 大森委員同席	ネット会議
	8日(火)	事務長面接 渡邊副会長、久保副会長、久保木副会長、相馬事務局長同席	本会事務所
	13日(日)	台風19号による本会事務所の状況確認	本会事務所
	17日(木)	田村議員との意見交換会 炭連盟会長、林連盟副会長、池田事務職員同席	
	18日(金)	「半田一登先生 旭日小綬章受章を祝う会」 久保副会長、久保木副会長同席	パレスホテル東京
	19日(土)	(公社)日本理学療法士協会理事会傍聴	TKP赤坂駅カンファレンスセンター ホール14A
	20日(日)	(公社)日本理学療法士協会組織運営協議会 内田理事、長澤理事同席	TKP赤坂駅カンファレンスセンター ホール14A
	22日(火)	臨時常任理事会	情報科学専門学校
	22日(火)	第5回事業運営会議(拡大)	情報科学専門学校
	26日(土)	第38回関東甲信越ブロック学会開会式	ベシア文化ホール
	26日(土)	第90回関東甲信越ブロック協議会士会長会議	ベシア文化ホール
	26日(土)	群馬県理学療法士協会創立40周年記念式典 渡邊副会長同席	前橋商工会議所会館
27日(日)	第90回関東甲信越ブロック学会功労者表彰式	ベシア文化ホール	
29日(火)	事務長面接 相馬事務局長、露木理事、松本理事同席	本会事務所	
11月	7日(木)	第8回常任理事会	アットビジネスセンター横浜西口駅前
	7日(木)	第1回50周年記念事業準備委員会	アットビジネスセンター横浜西口駅前

会長
 行動報告
 8月～11月



日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相馬 光一

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
 - 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
 - 書籍購入（一部割引）等が可能となります。
- *詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

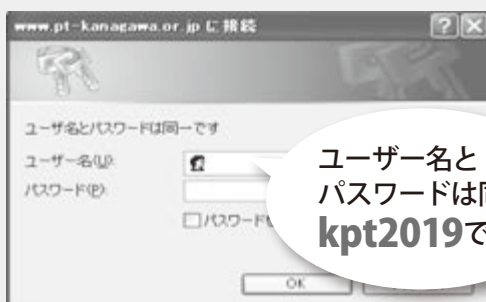
楽天カード更新に伴うマイページ情報更新はお済みですか？

*マイページに登録されている楽天カード情報と、お手元のカード番号・有効期限・名義が相違していないことをご確認ください。

*楽天カードの有効期限切れに伴い、新しいカードがお手元に届いた方は、マイページのカード情報の更新をお忘れなく行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 相馬 光一

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります
ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部



県民公開講座



日時：**3月15日(日)**
10:00~11:30【受付 9:30】

講師

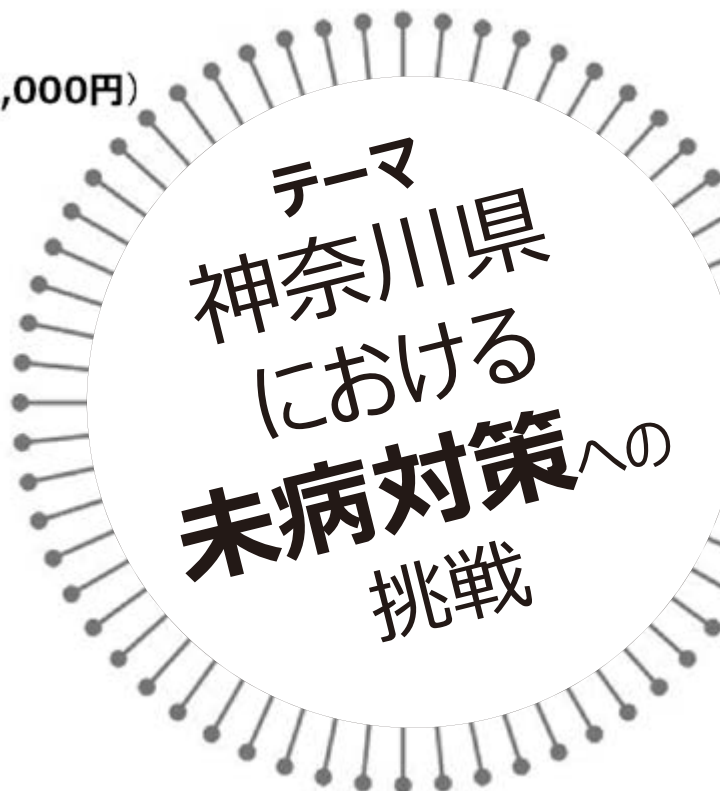
黒岩祐治(予定)
神奈川県知事

場所：**パシフィコ横浜**
5階 A会場 (503)

県民公開講座は**参加無料・申込み不要**
学会参加は**会員3,000円**（事前登録は**2,000円**）

神奈川県は、国の「健康・医療戦略」に先立ち、未病の改善や未病産業の創出に早くから取り組んできた経緯があり、現在、県内の様々な地域で未病対策が行われています。

「未病」を提唱し、その改善を図るために精力的に活動を続けてこられた黒岩知事から、県民の皆様に向けたメッセージをいただきます。



第37回神奈川県理学療法士学会

編集後記

2020年になり、今年で東京オリンピックが開幕します。出場される選手の方々はこの日に向けて、各々の目標を掲げて様々なチャレンジをしてきたことでしょう。会場やテレビで観る選手たちは、輝いているでしょうし、これまでの歩みには誰もドラマがあります。我々は理学療法士としての業務で目標を決めるということは日常的に行っていると思いますが、自身の目標は立てていますでしょうか。ある調査によると目標を決めた人は決めていない人と比較して、10年後の年収が2倍になったと報告しています。「一年の計は元旦にあり」と言われているように、目標が未定の方は今はチャンスです。10年後の社会とわたしを見据えて、職場の目標、家族・家庭の目標、個人の目標を掲げることで、神奈川県理学療法士のひとりひとりがより成長していける一年にしていきたいですね。その姿はきっと、オリンピック選手のように輝いていますし、その歩みひとつひとつにドラマがあるはず。巻頭言では、第37回神奈川県理学療法士学会のテーマを「理学療法士の更なる挑戦—10年後も生き残るために—」とされており、10年後の理学療法の発展・展望・期待を確認する良い機会になると思います。着実な歩みにするためにも、3月15日の神奈川県理学療法士学会への参加をお勧めします。私も参加して一年の目標を掲げ、初志貫徹の精神で皆さんに負けないよう努力して参ります。

(中村壽志)

・ニュース編集部員・

担当理事：露木 昭彰 (足柄リハビリテーションサービス)
 部長：森尾 裕志 (湘南医療大学)
 部員：中尾 陽光 (湘南医療大学)
 下田 栄次 (湘南医療大学)
 中村 壽志 (湘南医療大学)

次号の原稿締め切りは**2020年3月1日**です。

湘南医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 (ニュース編集部宛)

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルをお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願いたします。

有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い、
生活を手助けするものづくりを提供して参ります。

〒247-0006
 横浜市栄区笠間 3-40-5
 TEL 045-892-5424 FAX 045-892-5424
www.Kimuar-gishi.co.jp

訪問看護とリハビリの 東京城南4区実績No.1!! ソフィア訪問看護ステーション

厚生労働省 介護保険事業状況報告調べ (平成30年2月5日発表)

ソフィア訪問看護ステーション (30事業所)
 ソフィアデイサービス (4事業所)
 ソフィアケアプラン (8事業所)
 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (2事業所)
 医療法人社団ホームアレー運営支援 (2事業所)
 行政委託 介護予防事業教室運営 (平成18年~)

訪問看護と在宅医療の教育・研修に特化したWebサイト



訪問看護 エデュケーションパーラー
 EDUCATION PARLOR

<http://www.hokan-e-parlor.com/>

訪問看護 パーラー

検索